

事務事業名 予防接種事業		所属部 健康福祉部	所属課 健康推進課
総合計画体系	政策名 (Ⅲ)地域で支えあうらしづくり《保健・医療・福祉》	所属G 総務G	課長名 上村 博子
	施策名 (17)健康づくりの推進	担当者名 岡 紋子	電話番号 0854-40-1045 (内線) 3633
	基本事業名 (049)病気の早期発見・早期治療の推進	予算科目 会計 款 大事業 大事業名 0 1 2 0 0 2 保健康業 項 目 中事業 中事業名 0 5 2 0 0 3 予防接種事業	
	目的 対 象 市民 意 図 心身ともに健康で暮らす。		
目的 対 象 市民 意 図 病気を早期に発見、治療する。			

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
・定期予防接種:BCG/ポリオ/四種混合(百日咳・破傷風・ジフテリア・ポリオ)/三種混合(百日咳・破傷風・ジフテリア)/二種混合(ジフテリア・破傷風)/MR(麻しん・風しん)/日本脳炎/子宮頸がん予防/ヒブ/小児用肺炎球菌/高齢者インフルエンザ ・任意のワクチン接種費用の一部助成:肺炎球菌/風しん

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	25年度実績(25年度に行った主な活動) ①個別予防接種:委託医療機関47(市内19・市外28)(高齢者インフルエンザ84) ②任意予防接種の助成(肺炎球菌18件、風しん92件)	26年度計画(26年度に計画する主な活動) 個別予防接種 委託医療機関:46機関(市内19・市外27)(高齢者インフルエンザ84)				
	② 活動指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
ア	集団接種回数	回	8	3	0	0
イ	接種延人数(定期予防接種)	人	15,087	14,640	15,170	15,170
ウ						
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)	
	予防接種法で定められた定期予防接種の対象年齢に該当する乳幼児・学童・高齢者	ア	接種年齢該当延人数(定期予防接種)	人	32,018	31,391	31,841	31,841
		イ						
		ウ						
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)		
予防接種を受けることにより、感染症の発生や、蔓延、罹患時の重症化を防止する。	ア	接種率(日本脳炎・インフルエンザを除く定期予防接種)	%	83.3	78.5	57.5	57.5	
	イ							
	ウ							

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (25年度決算)	② コストの推移	単位	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(計画)
(単位:千円) 報酬10、賃金21、報償10、旅費39、需用費573、役務費462、事業委託73,211、補助金435	財源内訳	千円				
	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円	7,208	16,979	0	0
	地方債	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円	66,738	77,058	74,761	91,625
	事業費計(A)	千円	73,946	94,037	74,761	91,625
人件費	正規職員従事人数	人	25	25	24	
	延べ業務時間	時間	2,417	2,425	2,416	
	人件費計(B)	千円	9,484	9,501	9,405	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	83,430	103,538	84,166	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
感染リスクやワクチンの開発、副反応を踏まえ毎年のように予防接種法が改正されている。また、乳幼児の予防接種の回数が増えたことにより、同時接種を実施する医療機関が増えている。H25年度、HPV予防ワクチンの接種は積極的接種勧奨が差し控えられており接種率は下がっている。	平成24年9月から全ての予防接種を医療機関での個別接種で実施。平成25年度から子宮頸がん予防、ヒブ、小児用肺炎球菌の3ワクチンが定期予防接種となる。平成25年11月からは小児用肺炎球菌のワクチンが7価から13価に変更となる。	予防接種の種類が増加や複雑化のため、よりわかりやすい周知が求められている。

事務事業名	予防接種事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康推進課
-------	--------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はあるか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	市民への丁寧な周知と受けやすい環境の整備が必要。	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	感染症のまん延など市民の健康への影響が大きく廃止できない。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒ (具体的な手段や類似事業名)	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない		類似事業がないため統廃合できない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない			
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		経費の大部分を占めるのは委託料であり削減できる要素が少ない。子育て支援の観点から小児の予防接種について自己負担金を求めている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		予防接種は医療機関に委託しているため削減の余地はない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		市民を対象に法に基づいて適切に実施している。生活保護世帯への配慮も行っており公平公正である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり		
C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	予防接種法に基づき適切に行っている。国の法改正等にも適切に対応している。市民への周知の工夫を行う必要がある。	

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上		●	維持		×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上		●																
	維持		×																
	低下	×	×																
<p>予防接種法に基づき適切に行う。市民への周知を丁寧に行う。</p>	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下は改革・改善とはならない。</p>																		